

【株式会社ミライト・ワン】

習志野花火大会で「イベント DX: 設営計画サービス」による警備の効率化を実証

株式会社ミライト・ワン(本社:東京都江東区、代表取締役社長:中山俊樹、以下ミライト・ワン)と FIREWORKS 株式会社(所在地:岩手県陸前高田市、代表取締役:浅間勝洋、以下 FIREWORKS)は、2024 年 11 月に開催された「習志野花火大会」において、デジタル技術を用いた警備の DX を実施しました。この取り組みでは、大会退場時の人流シミュレーションやリアルタイムモニタリングによる人流制御、3D 設計による什器や警備員の最適配置を行い、安全で効率的な大会運営を実現しました。今回実施した警備の DX は、「イベント DX: 設営計画サービス」の追加サービスとして展開していきます。

全国各地で開催されている花火大会やフェスなどの大規模イベントでは、入退場時の混雑による事故発生の可能性や、イベント参加者の滞留による交通機関の遅延、大規模な交通規制の必要性が課題となっています。さらに、会場内での観客の安全確保が一層重要となっており、従来の警備員増員による対策ではコストが増大し、イベントの存続が懸念されています。

習志野花火大会においては、退場時の滞留ポイントを可視化し、退場ルートや道幅、退場のタイミングなど、シミュレーションを行った結果、安全で円滑な観客退場を実現しました。また、複数ルートの設定に伴う合流や警備スタッフ配置の課題についても、効率的なルート選定と規制退場の導入を検討し、特に混雑が予想される箇所にはカメラを設置しました。当日は本部で状況をリアルタイムにモニタリングしながら各所に配置した警備員に適切な指示を出すことで混雑を回避し、滞留を最小限に抑え、スムーズな退場を実現しました。

一方、会場内での安全性確保に関しては、「イベント DX: 設営計画サービス」の先進的な 3D 図面を用いて安全対策を検討しました。地形の高低差や規模を把握できる 3D 図面により、海への転落を防ぐ安全策の設計や警備員の視界を考慮した最適配置を精査し、現場に迅速かつ効果的に展開できる安全計画を策定しました。これらの対策を実施することにより、習志野花火大会の計画段階から本番に至るまで、関連する行政機関と共通の意識を持ちながら計画進行することができ、事故のない安全な運営を可能としました。

ミライト・ワンは今後も、デジタル技術を活用し、地元コミュニティとの協力を深めながら、地域活性化に寄与する持続可能なイベント運営を目指します。

<株式会社ミライト・ワンとは>

株式会社ミライト・ワンは、1946年に創業し約80年にわたる歴史を持つ様々なインフラを創り・守る企業です。これまでの通信インフラ建設で培ってきた豊富な経験と技術力をもとに、近年では、エネルギー分野や交通分野といった社会のインフラも創り・守り続けています。通信、電気、建築、土木などの技術を活かし、地域や企業のDX化、グリーンエネルギー活用の推進など未来に繋げる街づくり・里づくりに取り組んでいます。「技術と挑戦でワクワクする未来を共創する」というパーパスのもと、人々の暮らしを豊かにする新たな価値創造と持続可能な社会の実現を目指しています。

<FIREWORKS 株式会社について>

FIREWORKSでは、民間企業が主体となり花火大会を持続可能かつ発展性のある運営を行い、世界に誇る日本の花火業界を盛り上げ、地方から日本を元気にしたいと2021年4月、三陸にある岩手県陸前高田市で産声を上げました。FIREWORKSは、全国で花火のイベント主催、花火大会主催者の運営やチケット販売サポート、花火コンテンツを活用した大手企業とのコラボ企画などを行っています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ミライト・ワン
みらいビジネス推進本部 みらいビジネス推進部
EMAIL: city_info@mirait-one.com
URL: <https://www.mirait-one.com/>

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ミライト・ワン
経営企画本部 広報部
TEL: 03-6807-3120
URL: <https://www.mirait-one.com/>



写真・標高データ出典: 国土地理院 (<http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

退場ルートの検討



退場シミュレーション



滞留箇所の抽出



写真 出典：国土地理院 (<http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)
 カメラの設置とモニタリング



会場の安全対策の検討

以上